

しょうがっこうをおくる会様

Plan Japan

プラン特別プロジェクト グアテマラにおける教育支援プロジェクト 完了報告書



グアテマラの子どもたち

公益財団法人プラン・ジャパン 〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22 サンタワーズセンタービル11F www.plan-japan.org

> ファンドレイジング部 平田 泉TEL:03-5481 -7100/FAX:03-5481-6200 Email: hirata@plan-japan.org



2016年2月

しょうがっこうをおくる会様

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、国際 NGO プランの活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ご支援いただきましたグアテマラにおける教育支援プロジェクトが完了いたしましたので、ここにご報告申し上げるとともに、深くお礼申し上げます。

今回の貴重なご支援により、子どもたちのより良い未来の実現に、大きく一歩近づくことができました。これからもプランは、皆様からのご支援によって、途上国の子どもたちとともに地域開発を進めて参ります。

賜りましたご寄付に今一度感謝申し上げますとともに、今後とも末永くプランの活動にご参加いた だきますよう、心よりお願い申し上げます。

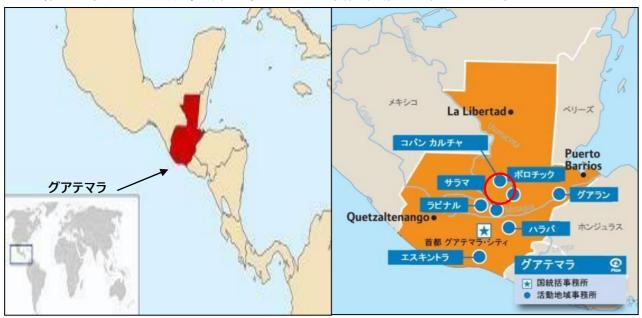
敬具

公益財団法人プラン・ジャパン 事務局長 /佐 藤 / 古 良月



■ プロジェクトの背景・概要

プランは、グアテマラで 1978 年に活動を開始して以来、教育、保健、住環境の改善、住民の収入 増加など多岐にわたる分野で、住民参加型の地域開発活動に取り組んでいます。



	グアテマラ	日本
人口	1,546 万人	12,714 万人
5 歳未満児死亡率(1,000 人当たり)	31 人	3 人
改善された水源を利用する人の比率(%)	94	100
1 人当たりのGNI*(国民総所得)(米ドル)	3,340	46,140
1日 1.25 米 , 未満で暮らす人の比率(%)	14	_
小学校の就学率(%)	95	100
小学校に入学した生徒が最終学年まで残る率(%)	_	_

「ユニセフ世界子供白書 2015」より

グアテマラ北中部、アルタ・ベラパス県サン・ペドロ・カルチャ市 カムパー コミュニティは、市の中心 部から51 キロメートルの距離にあり、主にマヤ系先住民族の人々3,240 人(男性1,621 人、女性 1,619 人)が暮らしています。同コミュニティには、幼稚園から小学校 6 年生までの児童 541 人(男子 298 人、女子 243 人)が通う学校があり、児童たちは教師 21 人と学校長 1 人のもとで学んでいます。

同校に備わっている教室 19 室のうち、13 室は良好な状態ですが、残る 6 室に関しては、コンクリート床と木製の壁、扉の劣化が進み雨季には雨漏りが発生してしまうため、授業を行うのが困難 な状態にありました。教室の不備が原因で、中途退学してしまう子どもや、入学を希望しない子ど もたちが少なくないため、教育省の基準を満たした教室の建設が急務とされていました。



前述の状況を改善するため、本プロジェクトでは、カムパー コミュニティの小学校に、普通教室とラン・ジャパン しても利用できる多目的教室 1 棟とトイレ 1 棟を建設することで、同校に通う子どもたちへの適切 な学習環境の提供を目指しました。

■ プロジェクトの経過

プロジェクトは2015 年 7 月に開始して以来、順調に進捗し、2015 年 11 月までに落成式(2016 年1月予定)を除く以下の活動を実施して無事完了しました。

■ プロジェクトの準備

2015 年 7 月、しょうがっこうをおくる会様からのご支援決定後、プランは、コミュニティの住民たちを対象とした集会を催し、本プロジェクトの実施が決定したことを伝えるとともに、建設工事における 熟練を要さない労働力の提供を依頼しました。また、教育省は建設工事の計画を承認しました。

2015 年 8 月、建設予定地の選定・測地を行うとともに、新聞への入札公告を通じた複数の建設会社の応札の後、9 月に厳正な審査を経てプロジェクトに携わる建設業者を決定しました。

■ 建設工事

2015 年 9 月、建設業者による資材搬入の後、10 月より校舎およびトイレの基礎工事を開始、土台や支柱の設置を行いました。続いて 11 月には、壁面や屋根、電気系統の設置を行い、11 月末までに多目的教室およびトイレの建設工事が完了しました。完成した教室の壁面には、貴団体名を記載したプレートの設置を行いました。

工事期間中は、プラン職員や、コミュニティ住民が定期的に建設現場を訪れ、工事が一定の品質を保って順調に進捗していることを確認しました。

■ 落成式

2016 年 1 月 14 日、475 人の児童と105 人の保護者、23 人の教師とコミュニティ開発議会メンバー 7 人、ペドロ・カルチャ市助役の参列のもと落成式が執り行われました。

最初に学校長からの謝辞が述べられた後、生徒会の児童による国旗掲揚、国家斉唱が続きました。その後 3 年生の児童による舞踊発表、コミュニティ開発員やプラン現地職員によるスピーチが行われ、テープカットが執り行われました。式典の後には、昼食が振舞われ、最後に親の代表から、しょうがっこうをおくる会の皆さまに対する謝辞が述べられました。



■ プロジェクトの成果

■ 子どもたちの学習環境の改善

カムパー コミュニティの小学校に多目的教室 1 棟とトイレ 1 棟が完成したことにより、現在同校に通う541 人の子どもたちの学習環境が大きく改善されました。多目的教室は、大きな1 教室を間仕切りで 3 分割できるようになっているため、この教室を普通教室として使用する 1 年生 3 クラスの子どもたち 101 人は、安全で快適な子どもにやさしい学習環境で授業を受けることができるようになり、学習意欲の向上が見込まれます。また、教育環境が整備されたことにより、保護者たちも安心して子どもを学校に通わせることができるようになるため、就学率や修了率の改善も期待できます。

学年 男子(人) 女子(人) 合計(人) 1 年生(A 組) 15 18 33 1 年生(B 組) 14 19 33 1 年生(C 組) 20 35 15 合計 44 57 101

【多目的教室を使用する児童数】

さらに、手洗い場付の清潔なトイレが完成したことで、子どもたちに対し、トイレの後に石鹸で手を洗うなどの衛生習慣の習得を促すことができるようになったため、水系感染症のリスク軽減につながりました。これにより子どもたちの学習意欲が向上し、出席率の改善が期待できます。

■ 教室建設への住民の主体的参加

プロジェクト期間中、地元組織であるコミュニティ開発議会は、資源を確実に有効利用するための監査に参加するとともに、プロジェクト全体の監督や進捗管理にも関与しました。保護者たちは、建設資材の運搬といった熟練を要さない労働力の提供により、プロジェクトに積極的に協力しました。 工事期間中、女性たちはプロジェクトに従事する男性たちへの食事の提供に当たりました。 教師たちは、交代制で行う工事のシフト管理や作業員の呼び出しといった役割を担い、子どもたちは、教師の指示の伝達役として活躍しました。このような住民や教師らが、責任を持ってプロジェクトによる成果を継続させていく体制が整いました。

■ プロジェクト支出

しょうがっこうをおくる会様からいただいたご寄付 400 万円は、下記のとおりすべて支出を終えました。ご寄付額と総支出との差額は、グアテマラでの活動を統括するプラン・グアテマラの年間予算より拠出してプロジェクトを完了いたしました。



現地の声



「しょうがっこうをおくる会様、ご支援くださいましてどうもありがとうございます! 木 材とトタン板でできた以前の教室はとても居心地が悪かったです。今は休暇中であ と数週間後に学校が再開しますが、新しい教室で勉強できるのを楽しみにしていま す。勉強する環境が大きく変わったので、やる気がわいてきます。同じクラスのお 友達を代表して、皆さまに心からの感謝の気持ちをお伝えします」

(デシィ カリナ・コイ/1 年生



「昨年は教室数が足りず本当に困っていました。以前の木製の教室には不都合なこ とがたくさんあり、授業を続けるのが難しいことがありました。しょうがっこうをおくる 会様のご支援のおかげで、安全で快適な教室で勉強できることができ本当に嬉し いです。温かいご支援、どうもありがとうございます」

(ロクエンフェル ウィンター・カール/5 年生)



「本校の子どもたちに代わり、この度ご支援くださいました、しょうがっこうをおくる会 の皆さまに心よりお礼申し上げます。長年子どもたちは木材とトタン板で建てられた 簡易な教室で授業を受けてきましたが、これからは新しい快適な教室で学べ るよう になるので、学習意欲も高まり知識を身につけようとする姿勢もこれまでとは違っ てくることでしょう」 (ベルサ ルース/6 年生担任教師)



「この度は、多目的教室とトイレの建設プロジェクトをご支援くださいまして、どう も ありがとうございます。新しくできた教室は、1 月に始まる新学期より1 年生3 クラ スの子どもたちが利用することになっています。私たちは、簡素な仮設の教室で 授業を行わなければならないことを深刻な問題と捉えていましたが、この度皆さ まが私たちの要望を受け入れてくださいましたことに、カムパー コミュニティの子ど もたちや保護者、教師や職員たちを代表して感謝の意を表します。皆様の 貴重 なご支援は、コミュニティにおける教育の質を高めるため役立たせて行きたいと思 います」

(ペドロ アイヴィス/小学校校長)





「今回のプロジェクトが、コミュニティにおいて最も支援を必要としている子どもたちのためになることを非常に嬉しく思います。天井が低くトタン板の壁の教室では、夏の暑 さのために子どもたちが息苦しさを感じたり、雨季には雨漏りが発生していました。皆さまのご支援のおかげで、2016 年からは子どもたちは広々とした快適な教室で学べるようになります。プランは、カムパー コミュニティ以外の複数のコミュニティで様々なプロジェクトを実施しています。温かいご支援に対し心よりお礼申し上げます」

(レネア ラミレズ/ペドロ・カルチャ市助役 助役)



「新しい教室が完成したことで、劣悪な状態の中授業を受けてきた子どもたちだけで なく、私たち保護者も非常に喜んでいます。2016 年の新学期からは、子どもたちはコンクリート製で塗装も施してある、広々とした快適な教室で学ぶことができるようになります。しょうがっこうをおくる会様からのご支援は、子どもたちにとってこの上ないも のとなりました。どうもありがとうございました」

(アルバ レオナー/母親)



「コミュニティ開発議会のメンバー、そしてひとりの父親として、今回のご支援に対して、深くお礼申し上げます。このプロジェクトは、子どもたちの健やかな成長を後押しするものだと思うと、幸せな気持ちで一杯になります。温かいご支援、どうもありがとうございました」 (フランシスコ・タキソール/コミュニティ開発議会メンバー)



「しょうがっこうをおくる会様のおかげで、子どもたちの劣悪な学習環境の改善に向け 長年望んでいた奇跡が実現にいたり、本当に感謝しています。2016年の新学期からは、 雨漏りなどの外部の状況に悩まされることなく、子どもたちは集中して授業に臨むこと ができるようになります。皆とても喜んでいます。温かいご支援に心よりお礼申し上げ ます。皆さまに神様のご加護がありますように」

(ミルドレッド・ファヴィオラ・ウィンター/コミュニティ・ボランティア)



■ 写真



多目的教室建設工事の様子



建設工事の進捗確認を行っている様子





建設中の教室内部の様子



完成した多目的教室内部。間仕切りで3分割して使用。





完成したトイレ1棟(4 基)



トイレ棟の側面には手洗い場を設置しました。



【記念プレート】



〈プレート訳〉

この多目的教室とトイレは、しょうがっこうをおくる会様のご支援のもと、教育省の協力を得て、 カムパー コミュニティに暮らす全ての子どもたちのために建設されました。



教室の壁面には、しょうがっこうをおくる会様からのご支援に対する感謝の意を 表する記念プレートが設置されました。



【落成式】



落成式に参列した子どもや保護者、プロジェクト関係者たち







- (上左) 落成式に参列したプラン・グアテマラ職員
- (上右) コミュニティ開発議会メンバーによるスピーチ
- (下) 完成した教室の内覧風景





引渡しのための公的文書へ署名風景



国家斉唱



3 年生の児童たちによる舞踊発表







テープカットに立ち会う子どもたちからは新教室で学べる喜びが伝わってきます。





式典の後の昼食風景



しょうがっこうをおくる会様からの温かいご支援のおかげで、素晴らしい施設が完成しとても嬉しいです。これからは毎日きちんと学校に通い、一生懸命勉強したいと思います。 どうもありがとうございました。